

保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名【 新津認定こども園 】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	B	B
評価の根拠 アルバイト職員への周知を図ってきたがまだ不足している。		
今後の改善・充実 アルバイト職員へ当会の良さをうたえ、帰属意識の高揚を会議などで話をしていく。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B	B
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている		B
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	B	B
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 コロナ禍のなかで従来の保育からの移行を行っているが、まだ未熟な面が多々ある。		
今後の改善・充実 主体的な保育についてより具体的な環境設定など経験と知識の蓄積を行う必要があり、研修なども充実させたい。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 玩具の消毒について、マニュアル化を図ったが、玩具の個別の消毒が多岐にわたるためもう少し改善が必要。		
今後の改善・充実 玩具の種類が多いので、それに合わせた消毒方法について検討を加えていく。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠 一部の保護者の方からコロナ関係で行事ができないことに不満があがっている。		
今後の改善・充実 行事の実施単位を学年別などにして行事をなるべく実施できるか検討を行っていく。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	B
評価の根拠 コロナの関係で食に関する行事や教育機会がほとんどできなかった。		
今後の改善・充実 野菜作りや食文化の紹介など栄養士の活躍の場をより増やし遣り甲斐を醸成していく。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	B
評価の根拠 フォーマルな会議では意見が出ないため議論が盛り上がらない。コロナ禍でミーティングが不足している。		
今後の改善・充実 打ち合わせをするグループの分け方を工夫し、より意見が出やすいようにしていく。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	A	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	A	A
評価の根拠 保健・安全に対するマニュアル化は進んできたが、事故防止検討を行い事故防止を図ってきた。		
今後の改善・充実 事故防止の検討を深度化させ、より衛生的、安全な環境づくりを行っていく。		
8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A
② 研修報告を園内で実施している	A	A
評価の根拠 コロナ禍でもリモート研修が充実してきたので、部外研修がきちんと行えるようになってきた。		
今後の改善・充実 より実践的なスキルを身に着けるための研修を充実させていく。		
9. 情報について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	A
評価の根拠 資料の管理は行えており、守秘義務に関しても園内研修、会議を通じて深度化を図ってきた。		
今後の改善・充実 新人職員が増えてきたことを踏まえ、SNSなどの新しい情報発信を行う上でのモラル形成をきちんと行うようにする。		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	B	A
評価の根拠 大規模修繕により、掲示スペースのリニューアルができたので活用している。		
今後の改善・充実 職員に対する個人情報の取り扱い方について園内研修を通じさらに深度化を図っていく。		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	B	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	B	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	B	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	C	C
評価の根拠 情報は事務室の書棚にセンターファイル化を図っており、個人情報の管理がしやすくなっている。		
今後の改善・充実 次年度は何とか保育参観を実施する方法を検討していきたい。		
12. 開かれた保育所づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	B	B
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠 園内のスペース、要員の関係で現在の状況が精いっぱいな状態。		
今後の改善・充実 園舎の建て替え時などにスペースの確保など念頭に行いたい。		
13. 情報発信について		
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている	A	A
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	B	B
評価の根拠 学校との連携がコロナ禍でうまくいっていない。		
今後の改善・充実 コドモンを活用しより速く、こまめでビジュアル化した情報伝達を行っていくこととする。		